

団体名	忠臣蔵交流楽碁会	活動名	忠臣蔵交流囲碁大会 ;及び こども囲碁教室の開催
-----	----------	-----	-----------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域)	② 実施期間 (開催準備期間を含む)
1. 忠臣蔵交流囲碁大会 <u>チャンピオン戦</u> 予選大会 12月3日 関西福祉大学・学生食堂 決勝大会 12月4日 関西福祉大学・校友会館 <u>初級クラス大会</u> 12月3日 関西福祉大学・学生食堂 <u>チビっ子大会</u> 12月11日 赤穂市加里屋まちづくり会館	1. 忠臣蔵交流囲碁大会 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月25日
2. こども囲碁教室 入門クラス 赤穂市加里屋まちづくり会館 初級クラス 赤穂市加里屋楽碁会囲碁サロン	2. こども囲碁教室 自 平成23年4月1日 至 平成24年2月20日
③ 実施体制	
1. 忠臣蔵交流楽碁会大会実行委員 21名	
2. 忠臣蔵交流囲碁大会 209名 大会参加者 197名 (含 チビっ子大会) その他 12名 (傘踊り、司会、審判長、会場設営ボランティア 関係)	
3. こども囲碁教室 42名 受講者 34名 (こども28名、シルバー6名)、講師8名	

④ 事業実績

1) 忠臣蔵交流囲碁大会

- ①12月開催の本大会に先だって、昨年の大会に参加した主な団体に呼掛け、5月8日赤穂ハイツにて囲碁団体戦を開催した。参加チームは赤穂市4、上郡町2、備前市2、他4、の合計12チーム(1チーム5名)で60名が参加し、メンバー間の親睦を深めた。
- ②大会実行委員会開催(#1 7月6日 於 赤穂楽囲碁会囲碁サロン) 兵庫県地域振興事業、及び東備西播定住自立圏推進関連事業応募申請に関する説明と、大会実行推進体制と役割分担、開催場所、後援依頼等準備事項の確認をした
- ③大会実行委員会開催(#2 9月7日 於 赤穂楽囲碁会囲碁サロン) 大会実行予算の審議、開催場所の決定、後援及び協賛いただく団体の確認、参加募集活動開始(案内チラシ発送、ポスター掲示、インターネットホームページによる募集開始)
- ④大会実行委員会開催(#3 10月20日 於 赤穂楽囲碁会囲碁サロン) 参加申込者数確認、目標未達成につき近隣の囲碁クラブ訪問し参加募集活動の実施を決定
- ⑤大会実行委員会開催(#4 11月25日 於 赤穂楽囲碁会囲碁サロン) 大会事前準備事項の確認、大会当日運営手順と役割分担、協賛会社の紹介
- ⑥チャンピオン戦予選大会及び、初級クラス大会開催(12月3日 於 関西福祉大学・学生食堂)
当日、午前8:00より大会役員、赤高囲碁部メンバー、ボランティアを動員して会場設営をした参加者はA,B,Cクラスチャンピオン戦153名、初級クラス16名。
- ⑦チャンピオン戦決勝大会開催(12月4日 於 関西福祉大学・校友会館) 予選を勝抜いた、A,B,C各クラス8名、合計24名が各クラスのチャンピオンを目指して対局
- ⑧チビっ子大会開催(12月11日 於 赤穂市加里屋まちづくり会館)
参加者28名(赤穂市17名、相生市6名、上郡町3名、備前市2名)、多数の父兄も観戦した
- ⑨大会実行委員会開催(#5 1月25日 於 赤穂楽囲碁会囲碁サロン)
第二回大会の報告と反省(改善事項、予算支出と収支)、第三回大会の骨子について検討

2) こども囲碁教室(次世代への囲碁の伝承)

①こども教室受講生募集活動

昨年度受講者に継続受講案内ハガキ発送、こども教室生徒募集広告掲載(赤穂民報 4月23日付)

②こども教室受講生徒数 34名

(内訳 入門クラス14名、初級クラス14名、シルバークラス6名)

③こども教室囲碁講座

平成23年6月19日～平成24年2月12日の間 毎週日曜日10時～11時30分 合計34回開催

・入門クラスは赤穂市加里屋まちづくり会館にて開催

囲碁の基本ルールの理解と、9路盤、19路盤での実戦対局を通して指導

・初級クラスは赤穂楽碁会囲碁サロンにて開催

囲碁の基本手筋、定石、布石についての講座と実戦対局指導

次世代へ囲碁の面白さを教え、普及するために、こども教室以外に下記の活動をした

- ④土曜夜店にて「親子ふれあい囲碁あそび」を開催 6月11日～7月9日の間の土曜日 花岳寺通り商店街の土曜夜店にて、囲碁サロンを開放し、囲碁を知らない子に、碁石に触れるゲームを教えた。
- ⑤トライやるウィークで中学生への囲碁指導
10月17日(月)～10月21日(金) 5日間 午前9時～午後3時
赤穂中学校からの要請で、生徒の感性や創造性を高めるために、学習の場を地域社会に拡大し体験させる、トライやるウィークで2年生4名を受入れ、囲碁入門講座を開催した。
- ⑥赤穂高等学校囲碁部指導 毎週月曜日5時より、高校囲碁選手権兵庫県予選への出場を目指して、赤穂高校に出向いて囲碁部員8名を指導中

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

人口減少が進む東備西播地区の活性化を図るために、当事業は日本の伝統文化である囲碁を通じた地域間交流という切口から、2市1町(赤穂市、備前市、上郡町)が中心となって、近隣の市町村にも呼掛け、住んで良かったと思える活力ある地域作りに、貢献することを目標として活動している。

また大石内蔵助が残した囲碁に関するエピソードや、愛用の碁盤等をもとに、囲碁の町赤穂をPRし12月14日の赤穂義士祭を盛り上げるイベントとして当大会を位置付けている。

1) 忠臣蔵交流囲碁大会

- ・2市1町の大会実行委員を中心として、開催に向けて4回の実行委員会とプレ大会を開催し意思疎通を図りつつ、囲碁を通じた地域間連携と交流基盤をより強固にした。
- ・今年度参加者197名の内、核になる2市1町(赤穂市、備前市、上郡町)の参加は130名(65%)であった。

今年度の特徴として、チャンピオン戦での小学生有段者2名と女性の活躍、また初級クラスへの赤穂高校囲碁部のフレッシュメンバーと熟年女性の参加、チビッ子大会への相生市こども教室からの参加、インターネットホームページからの申込等々、参加者の年齢・地域の幅が広がったのが印象づけられた。

- ・また関西福祉大学の全面的なご協力の下に、会場として大学構内の設備を利用させて頂き、学術的な静かな雰囲気の中で開催する事が出来たが、今後これを機会に関西福祉大学囲碁部設立への手掛かりとしたい。
- ・大会開催に当たって40社を超える地元企業、商店、旅館、漁業組合から協賛品を提供頂き、入賞品、参加賞他に利用させて頂いた。なお協賛会社名は、インターネットのホームページに掲載するとともに、賞品の目録を作成し、賞品と一緒に参加者に手渡し協賛会社の宣伝をさせて頂いた。

2) こども囲碁教室(次世代への囲碁の伝承)

- ・囲碁の技量だけでなく、対局を通じて礼儀作法と日頃から考える習慣や忍耐力を身に付けた落ち着いたこどもを育てる事とともに、囲碁を楽しんで打てるレベルにまで到達する事を目標に指導している。

今年度から、シルバー年齢の初級者や父兄も加え、世代間交流も交流対局を試みているが、対局中こどもたちも落ち着きを見せ、ある程度の効果はあったと思われる。

囲碁のレベルは初級クラスで10級前後、入門クラスは15級程度に到達している。

熱心な子は、1年間で5級から3段にまで上達したこどもも出てきている。

② 今後の課題

- 1) 今後忠臣蔵交流囲碁大会を継続的に開催して行くための長期計画とそれを可能とするリソースと推進体制の強化
- 2) 東備西播地区の囲碁人口の拡大
 - ①現在の老人に偏った囲碁人口を若年層、勤労者、女性の囲碁愛好者を増やす方策
 - ②学生、こどもへの囲碁の普及活動の活発化(学校教育、クラブ活動)
- 3) 他地区の囲碁クラブとの親善囲碁交流会の開催を活発にする。

忠臣蔵交流囲碁プレ大会
(団体戦)
赤穂民報記事

H23. 5. 8 開催
赤穂ハイツにて
参加 12 チーム 60 人
優勝は豊中市チーム



▼忠臣蔵囲碁プレ大会に予想以上の参加あり、県内外から15人1組の団体戦で棋力を競う「忠臣蔵交流親睦囲碁大会」が尾崎の赤穂ハイツでこのほどあり、県内外から12チームが参加した。個人戦で12月に行う「忠臣蔵交流囲碁大会」のプレ大会として囲碁サークル「赤穂楽碁会」(黒田紀典会長)が主催。千葉、香川などからも囲碁愛好者が集まった。

6チームずつ2グループに分かれて総当たりのリーグ戦を実施。会場に並べられた碁盤30面で二番に対局が始まると、「フシッ」「ピシッ」と碁石を打ち込む音が響いた。リーグ戦の結果に応じて順位決定戦を行い、豊中市から参加したチームが優勝した。

黒田会長は「予想を上回る参加があった。12月の本大会も盛り上げたたい喜んでいい。写真も12チームが団体戦を競った忠臣蔵交流親睦囲碁大会」

大会募集記事とポスター

忠臣蔵囲碁大会
大会要項が決定
12月3日(土)・4日(日)に新田の関西福祉大学で開催される平成23年度「忠臣蔵交流囲碁大会」の募集要項がこのほど発表された。

▽Aクラス(5段以上)▽Bクラス(4段以上)▽Cクラス(1級~5級)の3部門。初日の予選で各クラス上位8人を絞り、2日目に決勝を行う。同段級は先番6目半コミ出し、1段級差につき1目のハンデをつける。持碁は白の勝ちとする。

参加料1500円(昼食付)で各クラス4位までを表彰。11月20日(日)までに主催の「忠臣蔵交流楽碁会」080・1204・7870(黒田さん)へ申し込みを。郵便(〒678・0239、赤穂市加里屋226)、ホームページ(<http://www.wois-pp.so-net.ne.jp>)/ako-rakugokai/chusingata.html)でも受け付ける。

また、3日(土)の「初級クラス大会」(6級以下、1000円・昼食付)、11日(日)に「加里屋まちづくり会館」で開く「チビッ子大会」(小中学生対象、無料)の出場者も募集している。

参加者募集!
赤穂義士のふるさとで
忠臣蔵交流囲碁大会

予選大会—平成23年12月 3日(土)午前10時より
決勝大会—平成23年12月 4日(日)午前10時より
会場— 関西福祉大学
大会要綱— ★ A、B、C級級位ランク別対局戦
★ 6級以下の初級クラス大会
★ 小中学生子ビッコ大会(12月11日)
決勝進出— A、B、C各クラス上位8名
参加費— 1500円(昼食共)

豪華景品進呈! どなたも気軽に申し込みを!



申込先— 忠臣蔵交流楽碁会
会長 黒田 紀典
赤穂市加里屋 2226
080-1204-7870

後援— 赤穂市、上郡、備前市教育委員会
関西棋院 定住自立圏形成協議会

予選大会
奉納傘踊り
H23. 12. 3
関西福祉大学
学生食堂

開会式 来賓
兵庫県県会副議長
長岡壮寿氏
関西福祉大学
理事 事務局長
下村進氏



予選大会
対局風景



決勝大会
H23. 12. 4
関西福祉大学
校友会館
来賓挨拶
赤穂市副市長
明石元秀氏
関西福祉大学教授
溝端剛氏



対局風景



チャンピオン戦
入賞者
記念写真



チビッコ大会
H23. 12. 11
赤穂市加里屋
まちづくり会館

対局の様様



大会終了後の
記念写真



2) こども囲碁教室関係

募集記事
赤穂民報
H23. 4. 23

こども教室
入学
記念写真

「伝統文化こども囲碁教室」
H23年度 生徒募集

対象/小、中学生
募集/入門クラス 10人 初級クラス 15名
期間/平成23年6月19日～平成24年2月12日
毎週日曜日 午前10時～11時30分
場所/花岳寺通り「加里屋まちづくり会館 1F」
及び赤穂楽碁会「囲碁サロン」


受講料 無料

内容/入門クラスは、囲碁を打てるまで礼儀作法も含めて指導します。
初級クラスは昨年度より継続受講する子供、ある程度打てる子供をさらに上達を目指して指導します。

囲碁初心者入門講座開催
こどもと一緒に 囲碁を習いませんか？

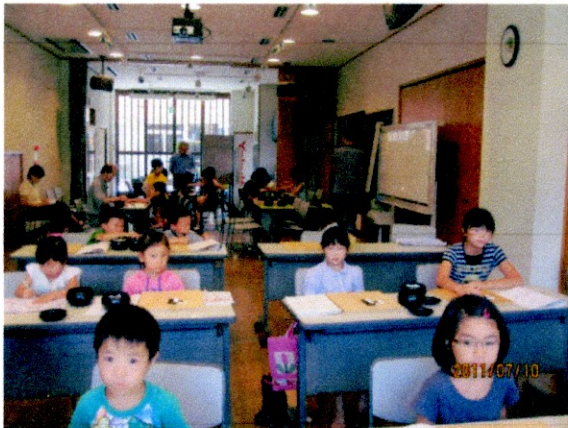
期間と場所はこども囲碁教室と同じです。
内容/入門テキストをもとに囲碁を打てるまで指導します。
受講料/500円/月

赤穂楽碁会
☎43-9767
☎080-1204-7870(会長・黒田)




2011/0

教室での
学習風景



2011/07/10



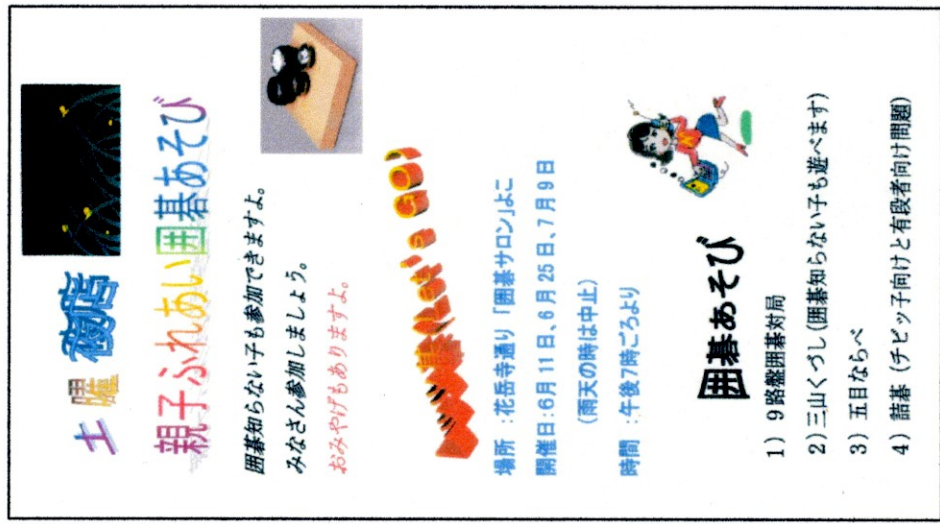
2011/10/26



2011/12/25

土曜夜店
H23. 6. 11-7. 9

親子ふれあい
囲碁あそび
チラシ



土曜夜店
親子ふれあい囲碁あそび

囲碁知らない子も参加できますよ。
みなさん参加しましょう。
おみやげもありますよ。

場所：花岳寺通り「囲碁サロン」よこ
開催日：6月11日、6月25日、7月9日
(雨天の時は中止)
時間：午後7時ごろより

囲碁あそび

- 1) 9路盤囲碁対局
- 2) 三山くづし(囲碁知らない子も遊べます)
- 3) 五目ならべ
- 4) 詰碁(チビツ子向けと有段者向け問題)

赤穂中学校
トライやる
ウィーク
H23. 10. 17

日程表

赤穂中学校 赤穂市トライやる・ウィーク「囲碁」日程表

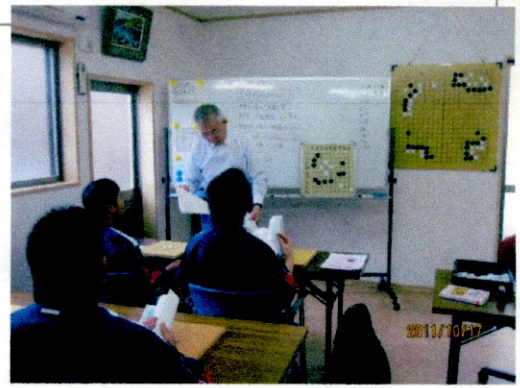
赤穂市囲碁協会 囲碁サロン

※各日の開催で、活動内容は変更あり。二日間で合計10日開催予定です。

10/17	9:00-10:00 囲碁のルビ 石取子 碁手平祐
10/18	9:00-10:00 囲碁のルビ 碁手平祐
10/19	9:00-10:00 碁手平祐
10/20	9:00-10:00 碁手平祐
10/21	9:00-10:00 碁手平祐

※ご記入数、この用紙は生徒が事前訪問をした際に、お返しください。

学習の様子



赤穂高校
囲碁部
メンバー



(添付書類-2)

イベント等事業収支決算書

1 期間 平成23年度 (平成23年4月～平成24年2月)

2 収入の部

(単位;円)

科目		金額	備考
事業推進支援金(ア)		200,000円	東備西播定住自立圏民間イベント事業支援金
事業収入	プレ大会参加料	90,000円	1,500円×60名 (12チーム60名参加)
	チャンピオン大会	229,500円	1,500円×153名
	初級クラス大会	16,000円	1,000円×16名
	小計	335,500円	
自己資金	忠臣蔵交流楽基会前年度繰越金	17,000円	
	こども囲碁教室講師会より繰入	200,000円	講師会22年度残高より繰入
	協賛金・寄付金	204,000円	企業(タテホ化学他6社),個人(鈴木隆氏他8名)
	他事業よりの支援金	738,400円	兵庫県地域振興事業補助金
小計	1,159,400円		
合計(イ)		1,694,900円	

※ 収入科目は、収入金額の種類(自己資金、他団体負担金、参加費等)に分けて、それぞれ記入してください。

※ 他から助成を受けた場合は、「その他の助成金(補助金)」の欄に記入してください。

3 支出の部

(単位;円)

科目		金額	積算内訳
助成対象経費	謝金	335,000円	こども教室講師、傘踊り謝金
	旅費	9,060円	審判長旅費、宿泊費
	需用費(事務用品、教材費 他)	354,737円	文具費、印刷費、囲碁テキスト代他
	役務費(通信費 他)	205,685円	通信費、運搬費、広告費、保険料
	委託料	140,000円	審判長、司会
	会場費	433,035円	会場・対局設備賃借、会場設営費
小計(ウ)	1,477,517円	(ウ) ≥ (ア)	
対象外経費	昼食費	186,000円	プレ大会、予選大会、決勝大会
	賞品代	16,400円	優勝カップトロフィー代
	雑費	0円	
	次年度繰越金	14,983円	
小計	217,383円		
合計(エ)		1,694,900円	(エ) = (イ)

※ 収入と支出の合計は一致させてください。